2017/3/17
第7回水道スマートメーター協議会

第2回ワークショップ

水道スマートメーターの価値を考える

JWRC

公益財団法人 水道技術研究センター

水道スマートメーター普及の課題

関係者へのアンケート結果を大3項目、中16項目に分類した。

大分類	中分類　(*WS追加)	フォーラム計	事業体	企業他	WS事業体	計	総合順位
1．技術上の課題	1－1．安全で最適な通信方式の評価	41	18	23	21	62	2
1．技術上の課題	1－2．低コスト化に向けた新メーター開発	67	26	41	25	92	1
1．技術上の課題	1－3．長寿命化の検証	20	8	12	2	22	10
1．技術上の課題	1－4．情報セキュリティ対策	29	13	16	3	32	7
2．制度上の課題	2－1．水道スマートメーター新規格の標準化	49	21	28	12	61	3
2．制度上の課題	2－2．計量法施行令が定める使用期間の延長	25	13	12	3	28	9
2．制度上の課題	2－3．電力・ガス等他分野との連携	46	14	32	2	48	5
2．制度上の課題	2－4．個人情報の取扱い*				8	8	14
3．計画推進上の課題	3－1．導入事例の増加と促進	30	9	21	2	32	7
3．計画推進上の課題	3－2．事業性評価や導入効果の算定の円滑化	41	14	27	12	53	4
3．計画推進上の課題	3－3．人材の養成(プロマネ,IT,セキュリティ)	4	3	1	7	11	13
3．計画推進上の課題	3－4．定義、メリットの具体化*				37	37	6
3．計画推進上の課題	3－5．国、他部門からの支援*				12	12	12
3．計画推進上の課題	3－6．市民の理解*				13	13	11
3．計画推進上の課題	3－7．業務体制の見直し*				6	6	15
3．計画推進上の課題	3－8．調達方式(共同,一括)*				2	2	16

出典

1. スマメ・フォーラム(2017.1.24アンケート)　有効回答数 86(回答率43%)　複数選択可
2. 第7回協議会(2017.1.25ワークショップ)　有効回答数 34(回答率100%)　複数選択可

水道スマートメーター普及に向けたワークショップ成果

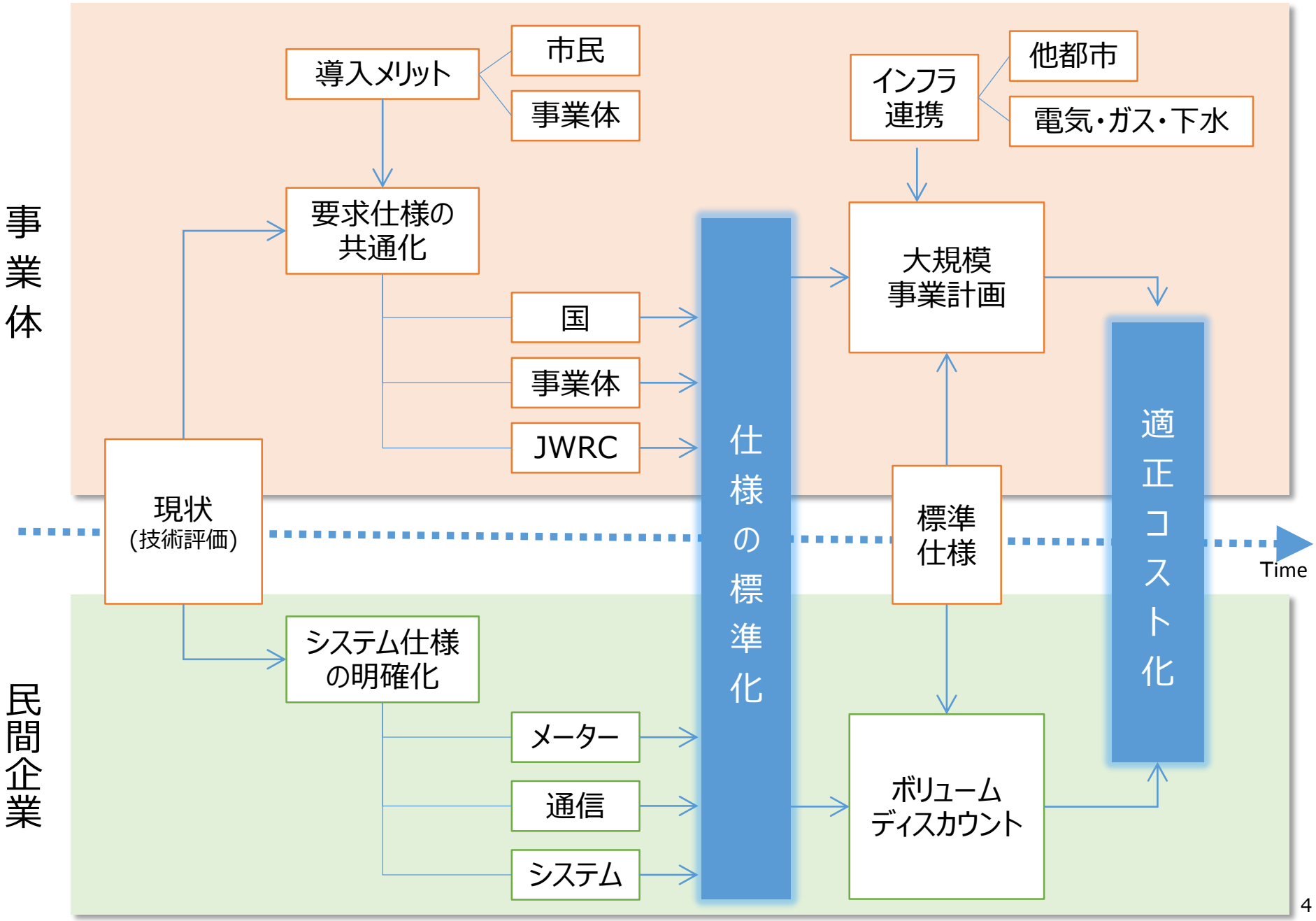
主な意見

１．導入・普及を視野に入れると「低コスト化」による費用対効果が優先事項。
低コスト化のためには大量導入によるディスカウントが必要で、
そのためには仕様を共通化が最優先。低コスト化とは、「将来コストの適正化」が正しい。

２．導入効果をいかに算定し、市民や関係者の理解を得るか。
検針業務の効率化以外への視点が必要。

３．システムとしての要求要件が必要。
協議会として意見を集約し、関係企業の意見を伺いたい。

４．協議会として更なる情報発信が必要。
事業体による導入試算成果、国や市民との調整手法など。

ワークショップの様子

水道スマートメーター普及に向けた課題と解決策の一例